



急に進んだボケは治る

笠間市立病院長 石塚恒夫

皆さんは、「せん妄」をご存知ですか。簡単に言うと、認知症で起きるような症状が一過性に起こることです。アルツハイマー型に代表される認知症では、ゆっくりと物忘れが進行し、次第に身の回りのこともできなくなります。しかし、せん妄とは、意識障害を背景にした注意力・判断力・記憶力等の低下が急に進行します。認知症や脳血管障害などを基礎疾患とし、入院による環境変化・感染症・脱水・薬剤の変更などがきっかけになります。興奮・幻覚・妄想などを伴う過活動型と、反応性が低下する低活動型があり、高齢になるほど後者を示し見逃されやすくなります。

大事なのは、認知症は基本的に治らないのに対し、せん妄はきつぱけになった病気を治療したり薬剤を中止したりすれば治るといことです。高齢者の場合、せん妄が心筋梗塞や肺炎の唯一の症状のことがあります。先日も、認知症が進んで自分で食事を摂れなくなった患者に慢性硬膜下血腫という頭蓋内出血が見つかりました。また脳内の神経伝達に用いられるアセチルコリンの働きを抑える薬剤（睡眠薬・抗不安薬など）は要注意であり、市販の感冒薬（鼻水止め）や胃薬（制酸剤）が原因にな

ることもあります。せん妄患者を診たら、「何か病気が隠れていないか」、「最近追加された薬剤がないか」を調べることは非常に重要です。

また認知症患者に夜間せん妄が見られることもありますが、昼間に適度な刺激と散歩などの活動の機会を与え、夜間に十分な睡眠を得られるようにすることで改善が見られます。必要に応じて処方される抗精神病薬で軽減することも可能です。アルツハイマー型に次いで多いのではないかと最近注目されているレビー小体型認知症は、明らかなきっかけなしにせん妄を繰り返します。はっきりと人や動物が見えるような幻視や、動作がぎこちなく転びやすいなどの特徴もあります。アセチルコリンの働きを強めるアリセプトという薬を、アルツハイマー型に用いるより少量で服用すると、アルツハイマー型に用いる以上の効果がみられることがあるので診断が重要です。

慢性の認知機能の低下と急性の認知機能の低下は、明確に区別されるべきです。せん妄は緊急の介入を要する状態であり、元に戻すことが可能です。もともと認知症である患者さんでも、身の回りのことが急にできなくなったら異常です。かかりつけの医師によく相談してください。

笠間のがんばる企業紹介②

笠間市には、全国でもトップクラスの技術を持つ企業がたくさんあります。このコーナーでは、より良い製品づくりを目指して研究・開発に取り組む市内の企業を紹介いたします。

ミサワ医科工業(株)

東京都江戸川区に本社を置くミサワ医科工業(株)は、医療に欠かせない注射器や注射針を毎月1億本以上生産している業界トップクラスの企業です。同社と笠間市のつながりは古く、昭和40年に南原工場、昭和47年に旭台工場を建設し、現在では世界80か国へ製品を輸出しています。

注射器の製造は高い技術と安全性が求められます。針の元となるステンレス管の製作から始まり、管の先を尖らせる研磨工程、プラスチックの針基や注射筒を作る成型工程、部品を組立梱包する工程、そして製品の滅菌を行う工程など、いずれも厳しい衛生管理と品質チェックを経て作られています。その証として、平成10年にISO9001(品質管理及び品質保証の国際規格)、平成14年にISO13485(医療機器の品質保証の国際規格)を取得しました。同社の目標は「痛くない針」を作ること。患者の立場に立ち、苦痛を最小限にすることが製品に込められた願いです。

「うちの会社は宣伝があまり上手じゃないのよ」。創業から同社を支える御澤トヨ相談役は笑って答えます。「でも、お客様は製品

の良さをちゃんと分かってくたさる。海外のお客様にも口コミで評判が伝わり、長いお付き合いをさせていただいています。数々の不景気を乗り越えられたのは、こうしたお客様があったからだと思います。」(同相談役)

高い技術と信頼を誇るミサワ医科工業。地域にしっかりと根ざし、世界への躍進を続けています。



ミサワ医科工業(株)

従業員数▼200人

○旭台工場

住所▼笠間市旭町351

敷地面積▼8,800㎡

○南原工場

住所▼笠間市大田町1476

敷地面積▼5,700㎡

※文責▼笠間市役所企業誘致推進室(内線562)